

学級活動指導案（6年）

平成26年11月11日(火曜日) 第4校時 6年教室

1 議題 「音楽集会を企画しよう」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

児童は、4月から本校の最上級生として様々な場面で下級生をリードしよう、学校をつくっていかうという姿が見られ、先に行われた運動会での団長や応援団長として活躍した姿や、日頃委員会や縦割り活動等で中心となる姿には堂々としたものがある。一つ一つ仕事をやり遂げる毎に、児童は自信を持ち、次への目標に向かっていかうという意欲を増しているように見える。

活躍する児童がいる一方、中には学校のリーダーとしての立場を理解しづらい児童や、具体的にどんな行動をとったらよいのか考えることが困難である児童も少なくない。また、十分な力を備えている児童でも、周りの目を気にしたり、自信を持たず前に踏み出すことができなかつたりするように見える。しかしこのような児童でも運動会後の感想には「ソーラン節を5年生に教えて、一緒に頑張れて嬉しかった」とか「鼓笛隊の動きを、自分が早く覚えて5年生をリードできた」等の記述があった。自分の役割を十分に理解させ、前もってどんな風に行動すべきかを支援することで、仕事をやり遂げることができ、達成感を感じられることも多いと思われる。

このように運動会で自分たちが頑張り成功を収め、陸上記録会や修学旅行といった大きな行事を終えた今、6年生には「自分たちにはもっと何かができる」「全校の中心となって頑張りたい」という思いが強くなっている。また、最近、昨年度開催された下仁田町小中合同音楽会を振り返る機会があった。5年生だった自分たちが6年生に合唱や合奏のお手本を聴かせてもらい、そのおかげで自分たちも表現を工夫したいという思いを持ったことを思い出し「去年の今頃、音楽会の練習頑張ったよね」「去年の6年生と歌ってハモったのが素敵だったね」という声、そして「自分たちもみんなの中心になって頑張りたい」という声が挙がるようになった。そこで、音楽集会を企画してはどうかという意見が出た。児童の中から挙がった議題ということで、意欲を持って話し合えることが期待される。また、自分たちが企画し一人一人が役割を果たした集会で全校が一つになり、その楽しさを体験することで、自己有用感を持ち、学校生活をより有意義なものにできると考え本題材を設定した。

(2) 児童(生徒)の実態及び指導方針(男子16名 女子16名 計32名)

本校は、平成24年度に町の小学校4校が統合し誕生した。全校児童127人の小規模校であるが、6年生は中でも最も人数の多い学年で、2学級あり、毎年クラス替えを行っている。そのため、話し合い活動については経験の差がややあるが、全体的には考えを自由に話し合えるよい雰囲気があり、建設的な意見を出し合う集団決定のよさに気付き始めている様子も見られる。自分の考えを進んで挙手・発言する児童も多く、初めは自分の意見を持たなくても人の意見を聞いて考えることができる児童もいる。しかし、聞いたことを受けて話すのは苦手であったり、意見は持てても言えなかつたりする児童もいる。人の話をよく聞いているように見えるが、大事なことは何かまとめながら聞くことや、〇〇さんが言ったことだから正しいだろうと公平に判断することには課題を感じる。自分が意見を言わなくても友達が言ってくれるだろうという思いの児童も数名いる。

そこで、指導方針として、「人の意見を聞いて、それを受けて話す」ことや「人の意見を聞いて、自分の考えを深める」「人の意見を聞いて、比べ合い、よりよい意見へと集団決定していく」など、

話し合いを通して「聞く」ことを特に大切にしながら、聞き合い・分かり合おうとすることができるようにする。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」
～「話し合い大作戦！」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の出し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

- ① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンの慣れてるパターンを用いて話し合い活動を進め、教師の支援は最小限にして、児童が役割を分担し、計画委員が中心となり話し合いを進めていくことにより、主体的な聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
- ② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。
- ③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞きそれを受けて話したり、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【 第5学年及び6学年の評価規準 】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級や学校の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。
聞くこと	自分と異なる意見にも耳を傾けようとしている。	公平に判断し多様な意見のよさを生かしながら聞こうとしている。	大事なことは何か自分の言葉でまとめながら最後まで聞こうとしている。

話すこと	話したいことが明確に伝わるように意見の発表方法を工夫して話そうとしている。	建設的な意見を持ち、理由を明確にして順序立てて話そうとしている。	相手の意見を聞き、それをもとに自分の言葉で話そうとしている。
分かり合うこと	多様な意見のよさを積極的に生かし、信頼し支え合って話し合い活動を進め、楽しく豊かな学級や学校生活をつくるためによりよい集団決定をしようとしている。		
折り合いを付けること	自分の意見を変容させたり、他の意見に譲歩したりして集団としての意見をまとめていこうとしている。		

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	<ul style="list-style-type: none"> 議題について自分の考えを持ちまとめておくことができる。 効率的な計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、自主的に準備できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の進め方を理解できる。 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、効率的な進め方を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会が学級の中から多く聞かれた声をもとにして、学校生活の向上につながるための話し合いにふさわしい議題を決定する。 めあてを確認し合い、音楽集会を企画する上で決定しなければいけないことは何か朝や帰りの会などに話し合う。 話し合いの進め方などについて確認する。 意見を話し合いカードに書いておく。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合える。 公平に判断し、多様な意見のよさを生かしながら聞こうとすることができる。 建設的な意見を持ち、理由を明確にして話そうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会や記録の仕方の役割や効率的な話し合い活動の進め方を理解できる。 相手の意図をとらえ、質問を考えながら最後まで聞こうとすることができる。 相手の意見を受け、自分の言葉で話そうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題・めあて・話し合うこと・決まっていることを確認する。 計画委員会が準備した短冊を見て、どんな意見が出されているのかを知る。 お互いがそう考えた理由を聞き合う。 しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 全体で、しんかさせた意見どうしを比べて、集団決定に向けて練り合い、集団決定する。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 自他の役割、創意工夫などについて自主的に考え、信頼し支え合って実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、みんなで効率的に実践することの意義や方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> みんな楽しく、効率的に行えるよう、ポスターや放送で企画について全校に知らせる。 楽しく音楽集会を行う。 話し合いで決まったことを主体的に実行することができたか発表し合う。

【事前の計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童像と評価方法

10月24日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会を組織する。 ・話し合いの活動計画を立てる。 ・役割分担をする。(昼休み) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の中から挙げてきた児童の声を参考にして議題を決定し、めあてや議題設定の理由をまとめられるようにする。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・計画委員としての役割や気を付けなければならないことについて理解し、活動計画を作成して話し合いの準備をすることができる。(計画委員の活動計画)
10月30日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会の紹介。 (帰りの会) ・議題等を説明し、学級活動コーナーに掲示する。 (休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽集会を企画するにあたり、どんなことを決めておけばよいか話し合っておけるようにする。 ・全員に役割があるような企画を考えられるようにする。 ・ここで決まったことを、学級活動コーナーに掲示できるようにする。 	
10月31日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを配布して自分の意見を書いてもらう。 (朝・帰りの会) ・進行表、板書計画の作成。 (休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに合った意見を考えられるよう全体に説明できるように、打ち合わせておく。 ・話し合いの進め方についての補足や、その他注意事項については、事前に教師が指導する時間を取り、徹底できるようにする。 	
11月5日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを回収し、意見を分類して短冊に書いておく。 (休み時間) ・話し合いの進め方を確認する。 (休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示用に大きく書き話し合い前に黒板に貼っておくよう打ち合わせておく。 ・集団決定の前に「集団のためによりめあてに近づいた意見にする」ことを、全体に改めて意識付けできるように打ち合わせておく。 	

5 本時の展開

- (1) ねらい みんなが音楽の楽しさを味わえるような音楽集会をしよう。
- (2) 準備 教師：司会団の席次札、議題・めあて・話し合うことの掲示用カード、
児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)
計画委員：進行表(全員)、座席表(指名係)、板書計画(黒板記録)、
学級会ノート(ノート記録)、みんなの意見を書いた短冊

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
【開始前】 短冊を見てみんなの意見を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌う時に気を付けることをクイズ形式にしてみんなに分かってもらえるようにする。 ・6年生がお手本となって歌い、後から追いかけっこで歌えるようにする。 ・歌詞にあった絵を見せながらイメージをふくらませて歌えるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ計画委員会が準備した短冊を利用し「出し合う」時間を省略し、「分かり合い」の時間を確保できるようにする。

<p>・みんなで元気よく歌う。</p>		
<p>1・議題、提案理由、めあて、話し合うことを確認する。</p>	<p>3</p>	<p>・司会の声の大きさや話し方が不適切であった場合には助言する。</p>
<p>議題 音楽集会を企画しよう。 めあて みんなが音楽の楽しさを味わえるような音楽集会をしよう。 話し合うこと 全校のみんなが音楽を楽しみと思えるような内容を考えよう。</p>		
<p>2 話し合い</p> <p>① 聞き合いタイム</p> <p>・誰がどんな意見を持ち、どうしてそう思ったのかを聞き合い、様々な意見を受け入れる。</p> <p>② しんかタイム</p> <p>・これまでの聞き合いを振り返り、自分の意見を見直して、個から集団への意見へ深める。</p> <p>③ 分かり合いタイム</p> <p>・全員の意見を比べ合い、練り合ってお互いの意見のよさを生かしながら合意点を見いだす。</p>	<p>10</p> <p>3</p> <p>25</p>	<p>☆会を通して、聞く視点「うさぎの耳」で聞くことを意識できるよう声がけできるようにする。</p> <p>・計画委員の紹介等は事前に済ませてあるので省略する。</p> <p>◎話し合いカードにあらかじめ教師が目を通して励ましなどのコメントを入れておくことで、自信を持って話し合いに臨み、発表できるようにする。</p> <p>・話し合いカードをもとに出されそうな意見を計画委員にアドバイスして把握させておくことで、話し合いの流れを予測しながら自分たちの力で進行できるようにする。</p> <p>☆「聞き合いパターン」の慣れてるパターンを用い、計画委員が中心となって主体的な話し合い活動ができるようにする。</p> <p>☆「うさぎの耳」で聞き、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。</p> <p>☆「しんかのもと」を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を整理することで、自分の意見を改めて見直し集団の一員としての意見へと深めていけるようにする。</p> <p>☆「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き、それを受けて話すことで、みんなの意見のよさを生かしながら、集団としての意見をまとめていくことができるようにする。</p> <p>☆めあてである「みんなが音楽の楽しさを味わえるような音楽集会をしよう」を意識付けてから分かり合いタイムに経入れるよう、計画委員と打ち合わせしておく。</p> <p>・公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合えている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。</p> <p>・児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。</p> <p>・めあてである「みんなが音楽の楽しさを味わ</p>

		<p>えるような」というところが大事であることを司会者とよく確認しておき、話が逸れてしまった場合には、修正できるよう促す。</p> <p>◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。</p> <p>◇思考・判断・実践</p> <p>公平に考え、判断し、自分の意見を変容させたり他の意見に譲歩したりして集団としての意見をまとめようと話し合っている。</p> <p>(観察・話し合いカード)</p>
3 振り返り	4	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループの頑張りを認め合う場をつくる。 ・それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次回の学級会への意欲を持てるようにする。

(4) 板書計画

